

2022年度 一般社団法人 大曲青年会議所

基本方針

50周年特別・まちづくり委員会担当
副理事長 鈴木亮太

「人間五十年」と詠われたよう人間の一生は儚いですが、先輩諸賢が紡いできた49年間の想いは着実にこの地に根付いており、大仙郷が今ここにこのようにしてあるのも、サステナブルな未来を描きながら活動や運動をしてきたからです。この半世紀にも及ぶ活動や運動を振り返り、受け継がれてきた想いを次代に受け継いでいき、これからも持続可能な発展が遂げられるよう、地域や青少年に対する取り組みを継続していく必要があります。まずは、周年式典と記念事業を確かなものにする土台を築くために、決起集会を開催し、先輩諸賢の地域への想いに敬意と感謝を示し、結束を高め、50年という節目に向けての決意を新たにします。そして、創立以来49年間、大曲JCと歩んできた大仙郷に、これまでの感謝を伝えるために、創立50周年記念誌の発行、及び記念式典を開催し、この地域における大曲JCの歴史と価値を再認識します。さらに、SDGsを推進する団体としてこの大仙郷が持続可能な地域となるために、大仙郷のみならず、全国の人々に大曲JCの感謝を示し、この地域にある資源を最大限に活用した、創立50周年記念事業を開催し、「遍地開花」の発端となります。そして、地域を刺激する価値を生み出すために、様々な角度から地域を分析することを通して若い世代と未来について模索し合い、資源や文化から地域の魅力を発見し、大仙郷に住まうものとしての、誇りと自覚をもった青少年を育成します。さらに、大曲JCがますますこの地域で活躍していくために、積極的な活動、運動を通じた会員拡大を行い、また50年、100年と想いを紡いでいける強い組織とします。

大きな節目である創立50周年を迎え、これまでの歩みに感謝するとともに、今この時代にここに生きることを賛美し、新たな一歩を着実な道へとつなぎます。地域や青少年にまいった新しい種は清き花となり、その絆が大仙郷をサステナブルで発展的な社会にします。